

## 日本産業衛生学会東北地方会ニュース

# みちのく

No.67

5/19

2022

発行/令和4年5月19日・発行所/日本産業衛生学会東北地方会事務局

住所/〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1 (東北大学大学院医学系研究科産業医学分野内)

電話/022-717-7874・FAX/022-717-7883・e-mail/sanei-michinoku@doh.med.tohoku.ac.jp・発行人/黒澤 一

## 第81回日本産業衛生学会東北地方会学会開催にあたって

第81回日本産業衛生学会東北地方会 学会長  
山形大学大学院医学系研究科 公衆衛生学・衛生学講座  
教授 今田 恒夫

この度、第81回日本産業衛生学会東北地方会を山形において開催させていただきます。  
2022年5月現在、新型コロナウイルス感染は落ち着いておらず、まだ予断を許しませんが、今のところ感染対策をしっかり行った上での現地・Webハイブリッド開催を予定しています。Webによる参加は移動がなく楽な面もありますが、会場での発表と討論によるライブ感は現地参加ならではのものです。Web参加でも現地参加でも充実した学会となるように準備して参りますので、できるだけ多くの方のご参加をお願い申し上げます。

今回のメインテーマは「ポストコロナ、人口減少社会での産業保健」です。しばらくはウィズコロナ状態での生活を余儀なくされると思いますが、これから来るポストコロナ、人口減少を視野に入れた産業保健活動を始める時期でもあります。新型コロナウイルス感染症の影響により、生活や仕事の考え方や取り組み方が大きく変わりました。テレワークなどにより人と接触しない新しい生活スタイルが増え、身体的、精神的、社会的な健康を維持できるように、より一層の取り組みが必要です。この状況を踏まえて、特別講演では、弘前大学大学院医学研究科社会医学講座 井原一成教授から「健康経営と地域・職域での健康づくりについて 青森から発信する」のタイトルでご講演頂きます。健康経営に関する青森県での取り組みの実際をお話いただけることと期待しております。特別講演後には、産業医協議会、産業看護のつどい、産業技術部会、産業歯科保健部会など各部会も開催されますので、ご参加宜しくお願い致します。

しばらく開催できなかった事業所見学については、山形市のいそのボデーを訪問し、工場の見学と産業衛生の実際に関する意見交換等を予定しています。

懇親会は山形駅近くの山形国際ホテルで開催予定です。コロナ対策のため、着席での食事

と交流になりますが、ご参加の皆さんと久しぶりの楽しい時間が過ごせることを期待しています。

私たち山形大学公衆衛生学・衛生学講座は初めて学会運営を担当させていただくため、学会運営には至らぬ点多々あるかと思いますが、何卒ご容赦いただき、あわせてご支援いただけましたらありがたく思います。学会の準備状況を含めたお知らせは、山形大学公衆衛生学・衛生学講座のホームページ <https://www.yamagatapubhealth.com/> に随時掲載いたしますので、ご覧ください。

それでは、山形で皆様にお会いできることを楽しみにしております。

---

## 第 81 回 日本産業衛生学会東北地方会開催要項

### メインテーマ：「ポストコロナ、人口減少社会での産業保健」

学会長：今田 恒夫  
山形大学大学院医学系研究科 公衆衛生学・衛生学講座 教授

---

1. 期日：令和 4 年 7 月 22（金）～23 日（土）
2. 会場：山形大学医学部 医学交流会館 大ホール  
〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2 電話 023-628-5260
3. 現地・Web ハイブリッド開催で行います。新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じて開催要項を変更することがありますので、地方会事務局 HP で最新情報をご確認ください。
4. 参加費：2,000 円 オンラインによる参加を希望される方は 7 月に入ってから会費納入方法についてご案内します。会費納入を確認できた方へ、開催数日前にアドレス、パスワード等をお送りいたします。
5. 参加申込：参加申込書 を下記事務局あて 7 月 8 日（金）までに E mail 又は Fax にてお送り下さい。
6. 発表・講演・その他企画
  - (1) 一般口演：7 月 23 日（土）9:30～12:00
    - ・ 会場：山形大学医学部 医学交流会館 大ホール
    - ・ 演題発表：口演（質疑含め 12 分）を募集します。
    - ・ 発表申し込み：郵便、ファクシミリ、E-mail で 6 月 24 日（金）までに東北地方会事務局までお願いします。
    - ・ 発表は PC での発表のみとします。

- ・ 大会用抄録集を作成しますので、6月24日(金)までに1演題につき演題名、演者名、所属、本文、図表等を含むWord形式A4 1ページの抄録原稿をE-mailで事務局までお送り下さい。
- ・ 別に学会掲載用の抄録(400字以内、図表なし)も当日までにご提出ください。

(2) 役員会 7月23日(土)12:00~13:00

- ・ 会場：大会議室

(3) 総会 7月23日(土)13:00~13:20

- ・ 会場：医学交流会館 大ホール

(4) 特別講演 7月23日(土)13:30~14:50

- ・ 会場：医学交流会館 大ホール

講演 「健康経営と地域・職域での健康づくりについて 青森から発信する」

弘前大学大学院医学研究科社会医学講座 井原 一成 教授

(5) 各部会 15:00~16:30

産業医協議会 会場：医学交流会館 大ホール

講演「遠隔産業衛生の現状と課題」 合同会社 DB・SeeD 代表 神田橋 宏治 先生  
産業看護のつどい 会場：大会議室

「アドラー流“勇気づけ”保健指導」 Human Happiness Inc. 上谷 実礼 先生  
産業技術部会 会場：基礎校舎 5階分析室

産業歯科保健部会 会場：基礎校舎 5階実習室

(6) その他の行事予定

① 事業所見学 7月22日(金) 13:30~16:30

見学事業所：株式会社 いそのボデー 〒990-2226 山形市西越 25 番地

募集人数：30名(要事前申し込み) 参加費：2,000円(バス代等)

参加申込書に記入し、6月24日(金)までに地方会事務局までお願いします。

見学事業所へは、山形駅西口 霞城セントラル前からバスでご案内します。

なお、事業所にマイカーで直接乗り入れすることはご遠慮下さい。

13時30分に山形駅西口 霞城セントラル1階西出口前に集合して下さい。

② 懇親会 7月22日(金) 18:30~

会場：山形国際ホテル 懇親会参加費：6,000円

日医認定産業医研修として 学会特別講演(生涯専門1.5単位)、産業医協議会(生涯専門1.5単位)、事業所見学(生涯実地1.5単位)について単位を申請しております。ただし、産業医研修の単位は直接会場を受講された場合のみ認められます。

また、日本産業衛生学会産業看護部会「産業保健看護専門家制度」単位を申請予定です。

大会事務局：〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2

山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学・衛生学講座

第 81 回日本産業衛生学会東北地方会事務局

Tel: 023-628-5260 Fax: 023-628-5261

E-mail : set2022@mws1.id.yamagata-u.ac.jp

HP : <https://www.yamagatapubhealth.com/>

会場アクセス JR 山形駅から

◆タクシー：JR 山形駅から約 5 km（所要時間約 7 分）

◆バス：JR 山形駅から大学病院行きバス大学病院前下車（所要約 15 分）



\* 地方会学会参加の申し込みは、添付の地方会参加申込書を Fax またはメール添付にて、第 81 回日本産業衛生学会東北地方会事務局までお送りください。

## 東北地方会理事よりご挨拶

一昨年度の役員選挙にてこれまで長きにわたり、東北地方会選出の理事として、日本産業衛生学会東北地方会の発展に御尽力いただきました福島哲仁先生がご退任され、一昨年度まで東北地方会看護部会長でおられた千葉敦子先生が新たな理事にご就任されました。留任された黒澤一先生と共に、東北地方会選出の理事として学会本部の企画・運営等にご活躍いただいております。お二人の先生方よりご挨拶を戴きましたので、ここにご紹介させていただきます。

---

## 業務執行理事を退任するにあたって

福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座

福島 哲仁

---

日本産業衛生学会東北地方会の色川俊也先生より、「業務執行理事を退任するにあたって」と題して寄稿の依頼がありました。1年前の総会をもちまして業務執行理事並びに理事を退任いたしましたので、一言ご挨拶を申し上げます。私がおります、福島県立医科大学衛生学・予防医学講座は、産業衛生を教育、研究と実践の柱の1つにしてきましたので、私も東北地方会に参加していたのですが、その役割が多少変化したのは、2016年の第89回日本産業衛生学会を東北地方会がお引き受けすることになってからです。地方会の皆様との相談の結果、私とその企画運営委員長を仰せつかることになりました。同時に、学会理事と東北地方会長も兼ねることになり、2019年から2021年までの2年間は、総務担当業務執行理事を務めさせていただくことになりました。一会員として関わっていた学会と、その見え方が大きく異なり、COVID-19の流行時期とも重なりましたので、社会における学会の責任・役割について、また会員の個人的な行動と学会との関係性についていろいろと考える機会になりました。

学会は、会員から会費をいただいて運営しておりますので、その経営に責任があります。全国学会や全国協議会の収支は、学会運営に大きな影響を及ぼしますので、多くの会員や協賛する企業に参加していただくためには、それなりの規模の都市で開催する必要性がでてきました。全国学会は、将来的に5大都市で開催する方向で当時話が進んでおりましたので、福島市での学会のようなことはできなくなるかも知れません。一方で、COVID-19の流行によりオンライン、オンディマンドや現地と併用した開催方法が新たに取り入れられるようになりましたが、それはそれで、様々な理由で現地参加できなかった会員にとってメリットは大きく、また参加方法が多様化することで、開催都市の規模の影響は少なくなります。様々な要素が検討されて、全国学会の姿はこれから大きく様変わりするのではないかと考えております。また全国の地方会と関わるうちに、その様子がよく見えてきました。規模の大きい地方会は、東北地方会にはできないような運営や大きなイベントが開催できますが、会員1人1人の顔が見えるかというところはなかなか難しいと思います。東北地方会は会員数が少ないので、これからまだ増やしていかないとはいえませんが、規模が大きくなることで会員間の結びつきが弱まるのはよいことだとは思えません。その両立をどのように図って行くのか、そのようなことを考える時がいつか来るのかも知れません。アットホームな雰囲気を大切にしてきた東北地方会の発展のお役に立てればと思っておりますので、これからも一地方会員としてよろしく申し上げます。

## ご挨拶

青森県立保健大学

千葉 敦子

この度、理事を拝命いたしました千葉でございます。多くの皆様のご厚意とご支援に、心から感謝申し上げます。力不足で、前任の福島先生のような素晴らしい活動には到底及びませんが、黒澤地方会長をはじめ諸先輩方が築き上げてこられた東北地方会のさらなる発展のために微力を尽くしてまいりたいと思いますので、今後ともご指導、ご鞭撻をどうかよろしくお願い申し上げます。

自己紹介を兼ねて、私の近況を書かせていただきます。

### 【東北地方会のここが素敵】

私は青森県五所川原市生まれです。看護師をしていた8年間を東京で過ごした以外は、ずっと青森県で暮らす東北大好き人間です。産業保健に関わって20年になりますが、福島と仙台で開催された産業衛生学会全国大会が心に残る楽しい思い出です。東北地方会は人と人とのつながりの強さがピカイチだと実感できる大会でした。先日も、大役に不安いっぱい私に、「東北地方会は助け合って皆で頑張っていきたいと思っていますので、お困りのことがございましたら、何なりとご相談下さい」、と声をかけていただき、感涙いたしました。東北地方会はやはり素敵です。

### 【産業看護の定義が新しくなります】

産業看護部会では「産業保健看護」の新定義を作成中です。それに合わせてテキストを発刊します。2023年1月発売予定です。発刊されましたら皆様にもご紹介させていただきますのでプロモート等よろしくお願いします。さて、この打合せは全てオンラインで行われていて、地の利がいいとは言えない東北地方ですが全国的な活動にも支障がない社会になったことを実感しています。とはいえ、やはり「地の利は人の和に如かず」ですね。

### 【MPH (Master of Public Health) コース開設されます】

最後に宣伝をお願いします。青森県立保健大学では、東北大学に次ぐ東北地区2番目として公衆衛生学修士(MPH)コースが2023年に開設されます。青森県は地域住民の健康寿命の延伸や生活の質の向上、感染症等の健康危機管理、公衆衛生の人材不足など公衆衛生上の問題が山積しています。そのため、多様な公衆衛生の人材育成を図るためにこのコースが開設されることになりました。このコースのコア領域の一つに産業保健があります。現在は実習企業の確保に奔走していますが、産業保健にスポットがあたることをとても喜ばしく感じるとともに、産業保健を志す仲間がどんどん増えることを願っています。

末筆ながら、次は山形でお会いできることを楽しみに、会員の皆様の益々のご発展とご健康を心よりお祈り申し上げます

**産業医部会****産業医部会報告**

医療法人健友会 本間病院

菅原 保

福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座

各務 竹康

本年度も地方会における産業医部会企画として、第26回産業医協議会を7月23日(土)午後3時～4時半に開催いたします。今回は「遠隔産業衛生の現状と課題」の演題で合同会社DB・SeeD 代表の神田橋宏治先生より、ご講演を頂くこととなりました。

新型コロナの猛威は本稿執筆時点(4/27)で、やや落ち着きを見せつつありますが、まだまだ感染者は多く、ワクチンも4回目の接種が検討されています。コロナ以前の生活を取り戻すのではなく、with コロナの新たな生活を本格的に模索する段階となっているかもしれません。労働現場においても、今まで対面で行ってきた打ち合わせ、会議をリモートに切り替えるなど、対面による会話の機会が大きく減少しました。業種によっては在宅勤務、テレワークの推進により、出勤機会、出勤人数の減少、それに伴う会社のあり方が変わるなど、産業構造の大きな転換点に直面しております。在宅勤務の職場環境の整備責任等、法令が現状に追いついていないことも現実です。

産業医活動においても、訪問回数の減少、遠隔での面接対応、会議への出席が多くなるなど、通信機器を用いた遠隔での対応が多くなってきました。オンライン面接は私自身も多く経験しましたが、マスクを外すことにより表情がわかりやすくなるなどの利点はありました。一方で、対面であれば気づいた些細な仕草などに気づけないデメリットも強く感じており、全面オンラインに切り替えることは躊躇する方も多いのではないのでしょうか。その他の産業医活動

では、職場巡視など、現地に赴いて自分の目で確認することが重要ですが、外部の立ち入りを強く制限するなど、会社の方針により遠隔による対応を余儀なくされる例も散見されます。

このような遠隔対応による産業医活動について、今後も適用範囲の拡大が予測されますが、未だ手探りの状態で試行錯誤されている方、導入に二の足を踏む方も多いのではないのでしょうか。現状遠隔による産業医活動がどのように行われているのか、技術、方法の進歩、今後の課題等について、遠隔産業衛生研究会の代表世話人でもある神田橋先生よりお話し頂く予定です。質疑応答の時間も長めに設ける予定なので、会場からの積極的な発言、討議をお願いします。



**産業看護部会****産業看護部会報告**

産業看護部会 幹事  
村越 亜弥子

東北地方会産業看護部会は、2022年2月末時点での会員数は75名となっており、2021年は88名、2020年は92名の登録があったことを踏まえると、ここ数年でかなり減少傾向になっております。東北地方の産業看護のレベルアップを図るためにも、会員増加に向けた活動を強化して、共に学び、研鑽する機会を提供していきたいと考えております。

さて、来たる2022年7月22日～23日には第81回日本産業衛生学会東北地方会が開催されます。昨年に引き続きハイブリッド開催の予定ですが、今年は2年ぶりに事業所見学の実地研修も再開されます。そして看護部会としての研修会も開催予定です。

★第29回産業看護のつどい 7月23日(土)  
15:00～16:30

・「アドラー流”勇気づけ”保健指導」  
上谷美礼先生 (Human Happiness Inc.)

・産業看護部会 東北地方会総会  
詳細は学会 HP の東北地方会に掲載されますのでご確認ください。参加費は2000円となっております。皆様お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

また今年度は、全国の看護部会の中で、「産業保健」の定義について10年ぶりに検討されており、ここ数年かけてほぼ内容が固まりました。2022年5月の本学会にて、皆様にご承認頂く予定となっております。楽しみにお待ちしております。

**産業衛生技術部会****令和4年度産業衛生技術部会の活動計画**

東北地方会 幹事  
河合 直樹

**■東北地方会(2022年7月23日:山形)**

◎情報交換会:話題提供者 本間直人氏  
(株)テトラス)

当部会では、懇親と交流の場を提供することを目的に、毎回、開催地で活躍しておられる産業衛生技術関係者から話題提供していただいています。今回は、作業環境測定機関である(株)テトラスで、長年、労働衛生コンサルタント、第1種作業環境測定士として活躍しておられる本間直人氏から、アーク溶接フェーム関連のテーマで話題提供をいただく予定です。ご期待下さい。

**■第95回日本産業衛生学会**

(2022年5月25日～28日:高知)

◎産業衛生技術部会フォーラム

(5月27日9:00～11:00)

テーマ「自律的な化学物質管理への転換」

◎専門研修会(5月27日13:30～15:30)

テーマ「新しい時代の働き方・高齢労働者の安全衛生管理」

※ライブ・オンデマンド配信予定

(詳細:<https://sanei-shikoku.jp/>)

**■第32回日本産業衛生学会全国協議会**

(2022年9月29日～10月1日:札幌)

<本部からのお願い>

部会会員の拡充を図るべく、特に若手技術者・研究者への入会勧奨をよろしく願います。

**産業歯科保健部会****産業歯科保健部会報告**

産業歯科保健部会幹事

井川 資英

歯科部会では下記の講演を予定しております。

**講演：「歯科特殊健康診断について」**

演者：医療法人社団 栄虹会

レインボー歯科医院 安藤栄吾 先生

講演要旨：

労働安全衛生法では、「事業者は塩酸、硝酸、硫酸、亜硫酸、フッ化水素、黄リン、その他、歯またはその支持組織に有害な物のガス、蒸気、又は粉塵を発散する場所で業務に従事する労働者に対し、6ヶ月以内ごとに歯科医師による健康診断を受けなければならない。」と定められている。該当する事業者は労働者に対し労働者に対し歯科特殊健康診断を実施する義務があり、また労働者は必ず受けなければならない。しかしながら、一部の事業所では歯科特殊健康診断について正しい理解がなされておらず、労働者への義務を果たしていない事例がしばしば認められ、規模の小さい事業所ほど、こうした事例が多い傾向にあることが推測される。これまで50人以上の規模の事業所に労働基準監督署への報告が義務づけられていたが、本年度より法律が改正され、50人未満の事業所にも労働基準監督署への報告が義務づけられることとなり、歯科特殊健康診断の需要は大きく拡大することが予想される。

私たち歯科医師は事業者からの依頼に対し、法律が求める歯科特殊健康診断を正しく理解し、労働者の健康保持増進に向けて職責を果たすことが求められているものの、残念ながら歯科医師の中には歯科特殊健康診断と一般の健康診断を混同するなど、適正に実施されていない現状があることも事実である。背景には歯科特殊健診に関するマニュアル等の不足や健康診断票の様式の基準が法律で定められていないことなどが挙げられる。

今回私たちは、労働安全衛生法に定められている歯科特殊健康診断に対する正しい知識の習得とそれを実践できる歯科医師を育成するとともに、事業所と歯科医師の相互理解を深め、事業者に歯科特殊健診へ理解を求めるために、何が出来るのかを検討していきたいと考え、今回の歯科部会のテーマとして取り上げた。

以上です。

部会員以外の皆様の参加も大歓迎です。お待ちしております。



# 産業看護とうほく

第40号 2022. 5

発行者: 日本産業衛生学会東北地方会

産業看護部会

連絡先: 〒984-8519

宮城県仙台市若林区五橋 3-2-1

NTT 東日本 健康管理センタ 村越亜弥子

発行責任者: 村越亜弥子・森鍵祐子

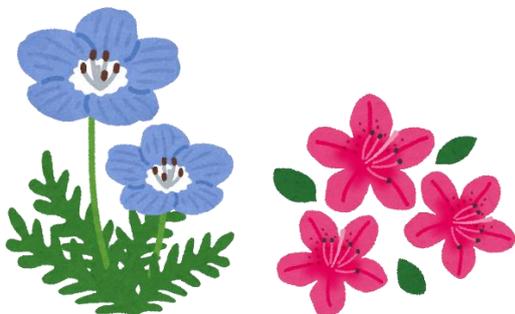
## ◎ 第 28 回産業看護のつどい ご案内

2022年7月22日(金)～23日(土)に、第81回日本産業衛生学会東北地方会が山形県山形市で開催されます。「ポストコロナ、人口減少社会での産業保健」をメインテーマに、山形大学医学部 医学交流会館 大ホールで行われる予定です。

第28回産業看護のつどいは、Human Happiness Inc. 上谷 実礼 先生による、

「アドラー流“勇気づけ”保健指導」についてご講演いただく予定となっております。

感染対策を十分に行った上で、多数のご参加、お待ちしております



## 第 11 回日本公衆衛生看護学会学術集会が仙台で開催されます

「ポストコロナ社会における公衆衛生看護への期待

—新たなコミュニティケアシステムの創出—」をテーマに、

**産業保健に関する講演やシンポジウムも開催予定**です。

東北で開催される貴重な機会です。学会員以外の方も参加

可能ですので、ぜひお誘いあわせのうえ、ご参加ください。

会 期：2022年12月17日(土)・12月18日(日)

会 場：仙台国際センター+オンライン(ハイブリッド開催)

学術集会ホームページ：<https://japhn11.yupia.net/>



## ◎ 各県の産業看護部会活動報告 (2022年1月時点)

### 【青森】

3月に産業看護者協議会・健保組合連合会・産業保健総合支援センター協賛で「コロナ禍における自殺の現状と産業保健上の課題」をテーマに公演が予定されている。コロナ対応については産業保健総合支援センターの研修会等で理解を深めながら対応に当たっている。ここ最近、県内企業に保健師を配置する動きが見られてきているため当会の参加を勧めていきたい。

### 【秋田】

#### ① 秋田県産業看護職会

産業保健に関する情報発信、相談先としての機能がある。

② 産業保健総合支援センター・秋田県産業看護職の会 共催セミナーを企画  
看護職ならだれでも参加可能なセミナー、事例検討会、事業場での活動紹介など。

#### ③ 両立支援コーディネーター基礎研修受講

秋田県産業看護職会に参加している看護職に受診勧奨。受講修了者に応用研修も予定。

### 【山形】

1月に山形県産業保健総合支援センターで産業看護職対象の事例検討会が開催された。地域保健・職域保健連携推進会議が開催され、情報提供がなされた。月一回の産業メンタル研修会も開催中。

### 【岩手】

労働局、労働基準協会、自家用自動車協会、県内医療機関など、協力いただいていた団体向けに事業の周知啓発を図った。事業ごとのリーフレットの見直し(メンタルヘルス、保健指導など)、改訂を行った。令和2年に実施した事業所アンケートでメンタルヘルス対策や両立支援の実態把握ができた。研修は自主的に開催する研修の比率を上げ、WEB配信も積極的に実施。センター主催の研修はハイブリット開催で実施した。2月に両立支援コーディネーター基礎研修受講者らを対象とした研修を実施予定。

### 【宮城】

12月に宮城県産業看護職オンライン交流会を開催。情報共有を行った。1月に仙台産業医学推進協議会、仙台為になる産業保健勉強会で「事業所則改正およびトータルヘルスプロモーション」をテーマに勉強会を行った。産業保健情報、研修会情報を不定期に宮城県産業看護 ML に配信。

### 【福島】

福島産業看護研究会(インテル)〈会員数12名〉にて定期的に勉強会を実施中。講師による講演、運動、禁煙支援、教育、特殊健康診断、メンタルヘルスなどをテーマに実施。自主的ネットワーク組織である福島県産業看護協議会は福島県産業保健総合支援センターと共催で年2回の研修を開催していたが、コロナの影響で開催していない。



#### 【編集後記】

2022年より運営委員になりました、永山と申します。初めてでよくわからない状況ですが、よろしくお願いたします。コロナの影響がまだまだ続いており、対面での交流が難しくなると思いますが、オンラインなども駆使しながら、心は密に交流していければと思っております。  
(福島：永山未来)

## 物故会員のご報告

白谷 三郎 先生 (弘前大学名誉教授、日本産業衛生学会名誉会員)

2021年8月ご逝去 93歳 ご冥福をお祈りいたします



## 会員の異動 (令和3年12月から令和4年4月)

### ■岩手県

新入会 太田 麻希子  
退 会 觸澤 史江

### ■秋田県

新入会 森 啓  
青木 瑞樹 (学生会員)  
清水 紀翔 (学生会員)  
転 入 井出 真由美  
退 会 酒井 一樹 (学生会員)  
青木 瑞樹 (学生会員)

### ■山形県

新入会 梶原 芽衣  
小林 淳子  
矢口 美穂  
西田 稚子  
退 会 阿部 久美子

### ■宮城県

新入会 星野 賢人  
鵜浦 友輔  
水野 真衣  
川口 陽史  
転 入 屬 明子  
退 会 三浦 優美  
佐藤 祥子  
只埜 則恵  
高田 望  
佐藤 晶子

### ■福島県

新入会 常岡 豊  
退 会 安原 鈴子  
高橋 正樹  
中田 陽子

### 編集後記

今年は、3年ぶりに規制のないゴールデンウィークとなりました。地方会会員の皆様はどの様にお過ごしになられたでしょうか？みちのく発行時点では、その影響があるのか全国的に感染者数は増加傾向にある様です。今月末には高知で第95回日本産業衛生学会が開催されますが予定通り無事に開催されますことを祈りたいと思います。

今回のみちのくでは、7月22日、23日に山形市で開催される第81回東北地方会のご案内を中心とした内容を掲載いたしました。また、一昨年度まで業務執行理事として理事会の重席を担うお立場でご活躍いただきました福島先生、新たに理事となられた千葉先生からご挨拶を戴きました。千葉先生には学会本部看護部会の副部長にも就任されたと伺っております。東北地方会から選出された理事の先生方が、本部執行部でご活躍いただいていることは地方会会員にとって大変喜ばしいことではないかと思っています。

新型コロナ感染症拡大の恩恵？で、これまでやや敷居の高かった社会活動における ICT「Information and Communication Technology (情報通信技術)」の活用が一気に進み、分散したメンバーによる会議等の開催も比較的容易に開催出来るようになりました。東北地方会事務局としては地方会役員会開催に ICT を活用するなどして、東北地方会の新たな活動の創出や活性化に繋がられないか検討しているところです。東北地方会の発展のため会員各位のご協力をお願いすると共に、是非、皆様からも様々なご提案を戴きたいと思っております。では、7月に山形市でお会いするのを楽しみにしております。(T.I.)